

議員特別研修実施報告書

報告議員名	佐藤 誠洋	報告日	令和6年2月20日
調査研究・研修等 名 称	北海道芦別市、美瑛町における先進事例の調査、研究		
実 施 日	令和5年7月4日（火）～6日（木）		
会 場	北海道芦別市、美瑛町		
調査研究・研修等の 概 要	<ul style="list-style-type: none">・北海道美瑛町 美瑛町地域材利用推進方針について・北海道芦別市 芦別市道路舗装修繕計画について		
調査研究・研修等の 成果と感想	別紙のとおり		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

1, 美瑛町 「美瑛町地域材利用推進方針について」

北海道ということから、ほとんどが国有林(70%)で、あり、私有林27%、町有林3%。所有者不明もあるが、地籍調査、意向調査済み。という環境の元、地元林材を活用した木材利用促進と、間伐材をチップにし、ボイラー熱利用による市民プール運営。どちらも地元業者さんに委託。川上から川下までの地元経済循環を目指している。

地元材活用促進事業は、大手住宅メーカーとの競合で、苦戦している。公共施設への地元材利用は100%であり、素敵な建築であった。

町民要望と町民の健康維持管理を目指し、プールをチップボイラー熱で運営では、マイナス20度以下の冬でも稼働できることは、維持管理費、脱炭素の観点から素晴らしい事業である。

横手市の森林行政、周回遅れのままであり、いつになったら「地籍調査」「意向調査」を行うのか。先進地では、工夫次第で住民要望が叶うことを目の当たりにし、改めて「横手市の市政のあり方の違和感」を覚えた。

また、担当部局で終えるのではなく、全体的な政策推進が成されていることは、特に参考にすべきであり、全体を俯瞰できる『能力ある』役職の存在が必須と感じた。

2, 芦別市 「芦別市道路舗装修繕計画について」

幹線道路及び生活道路のインフラ資産の管理、補修はそのまま市民サービスの向上に結び付く。一方で、莫大なお金がかかり、財政運営上、道路修繕計画策定は必須であり、費用の平準化と補助金交付要件を目指さなければならない。

芦別市では、平成28年に国の基準に基づいた道路診断を実施し、平成29年に計画を策定済みであり、5年後の見直し計画を令和4年に策定。この計画により、投資額が少ない予防保全型補修、年投資額の平準化、並びにFM債の活用で市民サービスの向上を目指している。生活道路は、地元建設会社による「道路維持管理組合」を作り、ここに年4000万の財源で委託。(令和3年度一般会計決算118億円)

除雪や凍結による道路補修は必須だが、横手市のような「穴ぼこ」は見当たらず、そこだけ修繕するより、投資額が少なくなるとのこと。

また、芦別市の視点では、組合に年4000万の財源を確保していることから、地元業者の安定的な育成にも目を向けている。しっかりとした道路行政を行っていて、素晴らしいと感じた。

横手市は議会から二回も「生活道路等インフラ整備を求める決議」を提出しているが、市長は全く聞く耳を持たず無視したままであり、財源が確保されておらず、市民要望は積み重なるばかり。さらに横手市は5年もかけて今もまだ道路診断中という状況である。

ここでも周回遅れの「横手市の市政運営のあり方の違和感」を強く覚えた。